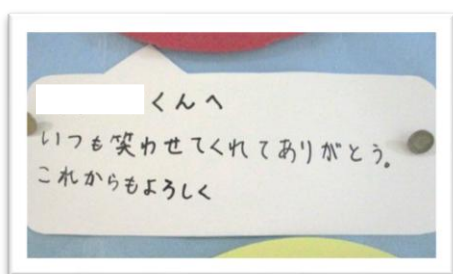


令和7年度 人権週間の取り組み

真庭市立湯原小学校

なかよし人権集会

放送広報委員会主催で行われた人権集会では、人権に関わるお題について縦割り班のメンバーで「話そうタイム」を行った。「どう解く?(ポプラ社)」より、答えの無いお題について『どんな意見に対しても否定しない』というルールで話し合うことで、自分と似ている意見、違う意見など、様々な意見があることを楽しく実感し、相手の意見を大切にできる時間になった。



なかよしカード

全校児童の考えを常時掲示している『全校掲示板』に、クラスの友達の良いところ、ありがとうと伝えたい事などを一人ひとりが書いて掲示した。他学年の児童のものも見る事ができるので、全校児童のそれぞれの良さを知ることのできる良い場となった。

人権の花の種をプレゼント

春に人権の花の種を植えた。その後、縦割り班で水やり当番を決めて世話をし、秋に種採りを行った。

採取した種は、メッセージを書いた袋に入れ、それぞれお家の人にプレゼントした。メッセージには「この花を育てて、やさしさを広げていってください」など心温まるものが見られた。春になったら、お家の人と植えるのを楽しみにしている児童もいた。



人権参観日

全学年、人権に関わる内容の道徳の授業を行い、その後の学級懇談でも道徳の授業についてや日ごろの児童の人権に関わる実態について話題にした。「大人も考えさせられる内容だった」との感想も聞かれ、保護者が考えるきっかけにもなったようだ。

授業参観後にPTA研修広報部主催の人権ワークショップを開催。真庭市立中央図書館の西川正館長をお迎えして、4~6年児童と全保護者対象でトークフォークダンス「大人と子供のしゃべり場」を行った。参加者からはとても好評で、普段話す機会の無い相手の新たな面を知られた楽しさや、じっくり話を聴く大切さなどを実感する機会となった。

